

## 地域森林計画樹立及び変更(案)の訂正表

令和7年11月28日

福島県森林計画課

「奥久慈地域森林計画書（案）」 訂正表

頁	項目大	項目中	項目小	項目・細	行	訂正前	訂正後
1	I	1	(2)	イ	1	イ 地質及び土壤 地質は、古生層変成岩、新期花崗岩、古期花崗閃綠岩、新第三期層の礫岩、砂岩一部頁岩からなり、久慈川に沿って棚倉破碎帶が走っています。	イ 地質及び土壤 地質は、古生代の変成岩、白亜紀の花崗岩類、新第三紀の礫岩、砂岩一部頁岩からなり、久慈川に沿って棚倉破碎帶が走っています。
1	I	1	(3)	ア	3	ア 土地利用の現況 本計画区の森林面積は49千haで、総土地面積に占める森林の割合（森林率）は78%となっており、県の森林率71%に比べ7ポイント高い地域となっています。その内訳は、民有林が27千haで55%、国有林が22千haで45%となっています。 森林以外では、耕地が5千haで7%、宅地が1千haで2%となっています。	ア 土地利用の現況 本計画区の森林面積は49千haで、総土地面積に占める森林の割合（森林率）は78%となっており、県の森林率71%に比べ7ポイント高い地域となっています。その内訳は、民有林が27千haで55%、国有林が21千haで45%となっています。 森林以外では、耕地が5千haで7%、宅地が1千haで2%となっています。
2	I	1	(4)	イ (ア)	3	(ア) 森林所有形態・林家数・林業所得 民有林の所有形態は、私有林97%、公有林3%となり、私有林の占める割合は県の81%を大きく上回っています。 林家数は、2020年世界農林業センサスによると2,263戸でした。 令和4年度の林業生産額は8億円で、総生産額の0.5%を占めており、県の0.1%を上回っています。	(ア) 森林所有形態・林家数・林業所得 民有林の所有形態は、私有林97%、公有林3%となり、私有林の占める割合は県の81%を大きく上回っています。 林家数は、2020年農林業センサスによると2,263戸でした。 令和4年度の林業生産額は8億円で、総生産額の0.5%を占めており、県の0.1%を上回っています。
4	I	2	(5)		1	(5) 保安林の整備 前半5年間の指定については、水源涵養を目的とする保安林を139ha、災害防備を目的とする保安林を234ha計画し、実績はそれぞれ41ha(29%)、35ha(15%)でした。	(5) 保安林の整備 前半5年間の指定については、水源涵養 <sup>かん</sup> を目的とする保安林を139ha、災害防備を目的とする保安林を234ha計画し、実績はそれぞれ41ha(29%)、35ha(15%)でした。
9	II	2	1	(1) 表1	14	生物多様性保全機能 原生的な森林生態系、希少な生物が生息・生育する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生息・生育する溪畔林	生物多様性保全機能 原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林
35	II	3	5	(5) ア	4	ア 林産物の搬出方法 林産物の搬出方法にあたっては、林地保全に配慮した集材路や土場の配置・作設及び人家、道路、取水口周辺等での配慮、生物多様性と景観への配慮のため、	ア 林産物の搬出方法 林産物の搬出方法に当たっては、林地保全に配慮した集材路や土場の配置・作設及び人家、道路、取水口周辺等での配慮、生物多様性と景観への配慮のため、
38	II	3	6	(6) イ	1	イ 国有林と民有林の連携	イ 民有林と国有林の連携

「奥久慈地域森林計画書（案）」 訂正表

頁	項目大	項目中	項目小	項目・細	行	訂正前	訂正後
68		1	(2)	ア		ア 気候 白河 最高積雪量 <u>18</u> (c m)	ア 気候 白河 最高積雪量 <u>25</u> (c m)
69		1	(3)			(5) 土地利用の現況 (注) 農地: 2020年世界農林業センサス	(5) 土地利用の現況 (注) 農地: 2020年農林業センサス
69		1	(5)			(5) 産業別就業者数 矢祭町 第1次産業 計 <u>388</u> (人)	(5) 産業別就業者数 矢祭町 第1次産業 計 <u>389</u> (人)
91		3	(5)			(5) 林業事業体の現況 (注) 造林業: 2020年世界農林業センサス	(5) 林業事業体の現況 (注) 造林業: 2020年農林業センサス